

大泉桜 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

单位数： 2 单位

使用教科書：（ 現代の国語 大修館書店 ）

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】語彙を豊かにして言葉を使いこなし、他者や社会に対する関心を育む。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識(常用漢字や話し言葉と書き言葉など)や技能(効果的な話し方など)を身につける。	目的や場に応じて、実社会から適切な話題を決め、様々な情報を収集し伝え合う内容を検討できるようにする。 自分の考えが的確に伝わるように根拠の示し方等を意識して書ける力をつける。	生活や人生について考えを深め、人間性を豊かにし、たくましく生きる人間性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	①明日をひらく 相手や目的に応じた語句や文体の 使い方を身につける。	①「伝える・伝え合う」 マップ法を使って自己紹介する。	○			知 正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配 慮して表現している。 思 相手の理解が得られるように表現してい る。 主 相手や目的に応じた言葉の使い方を積極 的に考えようとしている。	○		○	6
	②明日をひらく 言葉やコミュニケーションの基礎 を知り、学びに向かう姿勢をつく る。	②「考える技術」		○		知 言葉の意味内容を考え、認識や思考と言 業との関係を理解している。 思 エッセイを読み、内容や構成、論理の展 開などについてとらえ、用紙や要点を理解して いる。 主 問いに向かう姿勢を振り返り、自分で考 えることを大切にしている。	○		○	6
	③要点をつかむ 叙述を的確にとらえ、文章の要点 をつかむ。 具体と抽象の関係を理解する。	③「水の東西」		○		知 比喩、例示、言い換えなどの修辞につい て理解している。 思 内容や構成、論理の展開についてきか くにとらえ要旨を把握している。 主 積極的に具体や抽象、対比の関係をとら えようとしている。	○		○	6
	④的確に伝える 目的や場面にに応じてわかりやすく 伝える。 話し言葉、書き言葉の違いを認識 する。	④「設計図を最初に渡せ！」 ④「伝わるように話す」 ④「分かりやすく書く」	○	○	○	知 話し言葉の特徴や相手に配慮した表現に ついて理解している。書くべき材料の関係や構 造について理解している。 思 話ことばの特徴を踏まえ、相手が理解し やすいように表現を工夫している。 主 話す・書くについて相手の立場に立つて 自らの課題を調整している。	○		○	8
2 学 期	⑤論理をとらえる 主張と根拠、推論のしかたに着目 して文章の論理をとらえる。 ⑥意見を示す 自分の考えを整理したり広げたり する。 根拠を明確にして、自分の意見を 示す。	⑤「動的平衡としての生物多様性」 ⑥「発想を広げる」 ⑥「意見を書く」	○	○		知 主張と根拠などの情報をもとにした推 論のしかたについて理解している。 思 話すことについて様々な観点から情報を 整理している。 主 論理的な文章を読み情報の関係や推論の しかたに注意しながら内容理解に粘り強く取り 組んでいる。	○		○	8
	⑦論理をとらえる 主張と根拠、推論のしかたに着目 して文章の論理をとらえる。 ⑧魅力的に伝える 相手が魅力を感じるように表現を 工夫する。	⑦「自然と人間の間を通して考える」 ⑧「伝える先にあるもの」 ⑧「工夫して話す」	○	○	○	知 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表 現の特色を踏まえ分かりやすさに配慮した表 現、言葉遣いを理解して使う。 思 読み手の理解が得られるように、論理の 展開、情報の重要度などを考えて、文章の構成 や展開を工夫すること。 主 積極的に表現の工夫をしたり、話したり 聞いたりする活動を行なうこと。	○		○	10
	⑨資料を駆使する 統計資料を正確に読み取る。 ⑩統計資料をもとに意見を書く 統計資料をもとにして、自分の主 張を書く。	⑨「安くておいしい国の限界」 ⑩「統計資料をもとに自分の意見を 書く」		○	○	知 文書と図表の情報がどのような関係にあ るか理解している。 思 文書や図表などに含まれる情報を相互に 関連付けながら内容を解釈し、自分の考えを深 めている。 主 図表を伴う文章を読むことでそれを理解 し、自分の考えを深めている。	○		○	10
	3 学 期	⑪情報を比較する 複数の文章を比較し、考えを深め る。	⑪「美しさの発見について」	○	○		知 個人の情報と一般化された情報の区別が ついている。 思 文章に含まれている情報を相互に関連付 けながら解釈し自分の考えを深めている。 主 複数の文章を比較して読むことに興味を もち、共通点・相違点をとらえようとしてい る。	○		○
⑫主張を吟味する 文章中の根拠や引用に注目し、そ の妥当性や信頼性を吟味する。		⑫「贅沢を取り戻す」		○		知 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたに ついて理解を深め使っている。 思 文章や図表などに含まれている情報を相 互に関連付けながら、自分の考えを深めてい る。 主 情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読 もうとしている。	○		○	6
										合計 70